令和元年度　浜高だより（９月）

これからの時代に必要なのは「共感する力」だ

校長　榆　木　伸　司

人工知能 AI によって、医療現場では遺伝子解析、医薬品開発等に関して、画像や音声を数値化して処理し、まとめ上げることが出来るようになっています。しかし、AI には人間の意識や意図、更に他者に対する気遣い等を数値化して処理することは出来ません。では AI が賄えない部分をどう補完していくのか。そのカギは学校にあります。人とのつながりが密である学校において、相手の立場に身を置き、積極的に理解しようとする力：「共感する力」が不可欠となります。

仕事現場においてもチームで業務を進めていく際、個人が持つ思いやアイディアを共有し、目標達成に向けた施策を進めていくことが最も大切になるからです。

主体的・対話的な深い学びを紐解いていくとそこにたどり着きます。問題解決を図る際、課題を見い出し、仲間と協働して見通しを持って方策を定め、実践においては常に情報共有を図り、組織的で適切な対応が施せるかに懸かっています。

教育は人づくり。授業や部活動、三者面談等の場面においても、我々教師が共感的な視点で対応できる・できないは大きな分岐であり、経験則に基づいた教師集団の醸成は、学校力として大きな意味合いを持ってきます。生徒へは社会で「共存」する意味：お互いを理解し、補完し合って成り立っていることを説くとともに、見えている部分だけで判断するのではなく、その背後に隠れている根源的な部分にも光を当てて問題解決を図る経験を重ねさせていくことが、多様で寛容な社会の担い手としての資質向上にも繋がると思っています。本校では生徒の思いを受け止め、生徒が主体的に行動できるよう引き続き家庭・地域と連携しながら進めて参りますので、本校への変わらぬご支援の程よろしくお願い申し上げます。

以上 18 字× 40 行　720 字